

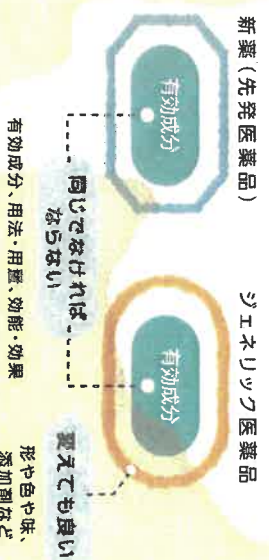
# 安心・信頼のジェネリック医薬品

いろいろな工夫がされ、種類も豊富なジェネリック医薬品

01

安心  
信頼

国の厳しい審査をクリア。  
有効成分は同じ。  
効き目、安全性も新薬（先発医薬品）  
と同等です。

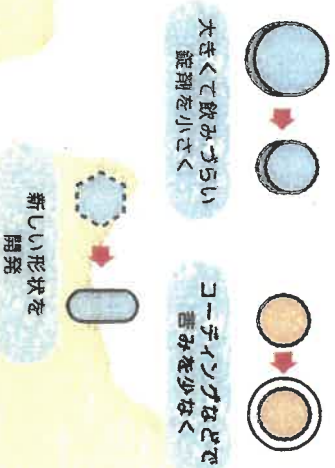


ジェネリック医薬品は新薬（先発医薬品）と同一の有効成分が、同一量含有され、同等の効き目があります。新薬と異なる添加剤が使用されることがありますが、すべての成分の、有効性、安全性、品質について国が厳格な審査のうえ、製造販売の承認をしております。

02

豊富な  
種類

自分に合うジェネリック医薬品を選択していきましょう。



一つの新薬に対し、複数のジェネリック医薬品があり、飲みこみやすい形状に整えたり、苦みを抑えるなど、様々な工夫が施された製剤もあります。たくさんの病気や症状に対応し、種類もカプセル、錠剤、軟膏、点眼剤、透布薬など形態が豊富です。  
※イラストはイメージです。

03

まず  
相談

「いつもと違う」を感じたら…。  
気軽に相談してください！



新薬であるか、ジェネリックであるかに関わらず医薬品には副作用が現れることがあります。今までの薬との違いや、使用前と生活上の違いが気になったら、ためらわずに医師や薬剤師に相談してみましょう。別のライアのジェネリック医薬品を選択することもできます。  
※すべての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。



だから、ジェネリック医薬品。一人ひとりが未来のために社会貢献を。



## 「最近の調剤医療費（電気処理分）の動向」における都道府県別後発医薬品割合」 (数量ベース、%)

	30年3月	順位	30年3月	順位	30年3月	順位		
北海道	74.2	23	石川	75.4	16	岡山	75.2	17
青森	74.3	22	福井	77.4	6	広島	70.9	39
岩手	79.0	3	山梨	66.8	46	山口	75.5	15
宮城	76.1	12	長野	76.8	10	徳島	65.3	47
秋田	73.5	31	岐阜	71.8	37	香川	70.8	40
山形	77.3	7	静岡	74.8	19	愛媛	73.6	28
福島	73.0	33	愛知	73.8	26	高知	67.5	45
茨城	72.2	34	三重	74.7	20	福岡	73.7	27
栃木	73.9	25	滋賀	73.5	31	佐賀	75.6	14
群馬	76.5	11	京都	70.1	41	長崎	74.4	21
埼玉	74.1	24	大阪	70.0	42	熊本	75.2	17
千葉	73.6	28	兵庫	72.2	34	大分	73.6	28
東京	68.5	44	奈良	71.9	36	宮崎	78.1	4
神奈川	71.3	38	和歌山	70.0	42	鹿児島	80.7	2
新潟	75.7	13	鳥取	77.0	9	沖縄	83.0	1
富山	77.1	8	島根	77.6	5	<b>全国</b>	<b>73.0</b>	<b>—</b>

注1) 保険薬局で、レポート電算処理システムで処理された調剤レポートのデータをもとに分析したものであり、院内処方（入院、院内調剤）及び紙し  
セプトを含まない数値である（出典：「最近の調剤医療費（電気処理分）の動向」(厚生労働省保険局調査課)）。

注2) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注3) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注4) 後発医薬品の数量シェア(置換え率)=[後発医薬品の数量]÷([後発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量])